

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 3 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願いたします。

記

1 情報の内容 果樹カメムシ類防除の徹底について

2 対象作物 果樹全般（かき、キウイフルーツ、なし、かんきつ等）

3 発生の現状

- （1）7月3日頃の天候回復とともに、果樹園への飛来が増加している。通常、かんきつ園への飛来は減少する時期であるが、多数の果樹カメムシ類が見られる園地もある。
- （2）飛来の多いかんきつ園では、多数の口針鞘が付いた果実や、落果が多数発生している園地もあるほか、新梢の枯死も発生している。
- （3）キウイフルーツでは、被害果率が3割を超える園地も確認している。
- （4）6月第6半旬から7月第1半旬の誘殺数（予察灯）は、平年に比べ1.5～92.4倍と多くなっている（表1）。

表1)6月第6半旬から7月第1半旬の期間の果樹カメムシ類誘殺数

	誘殺数(頭)					
	予察灯			集合フェロモントラップ		
	R6	平年	平年比	R6	平年	平年比
西条市丹原町	—	—	—	2165	145	14.9倍
西条市西泉	99	11.4	8.7倍	—	—	—
松山市上難波	348	14.8	23.5倍	1221	261.4	4.7倍
松前町大間	196	6.7	29.3倍	—	—	—
久万高原町入野	701	30.6	22.9倍	—	—	—
松山市下伊台	4434	527	8.4倍	235	126.1	1.9倍
西予市宇和町	3640	39.4	92.4倍	—	—	—
宇和島市吉田町	749	18.8	39.8倍	559	68.7	8.1倍
鬼北町興野々	617	405.4	1.5倍	1808	414.5	4.4倍
愛南町御荘	1161	20.5	56.6倍	—	—	—

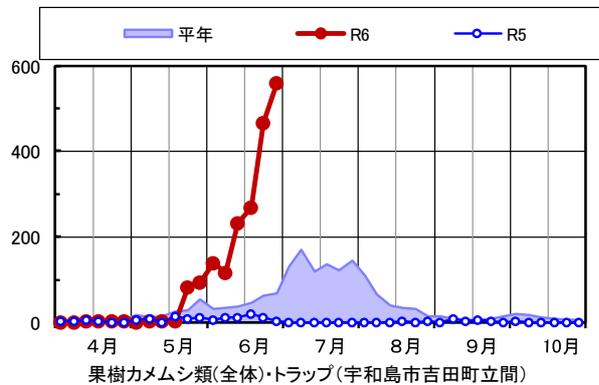
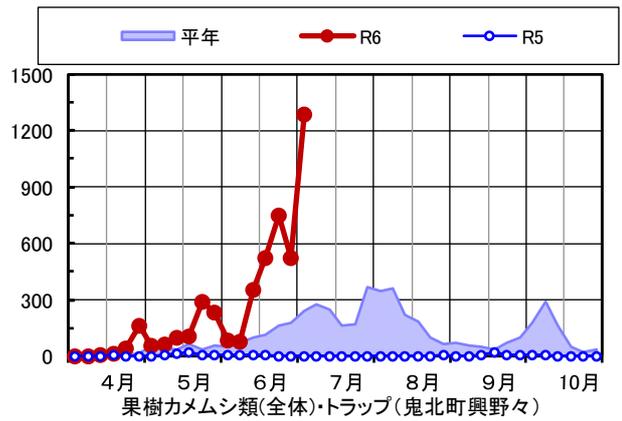
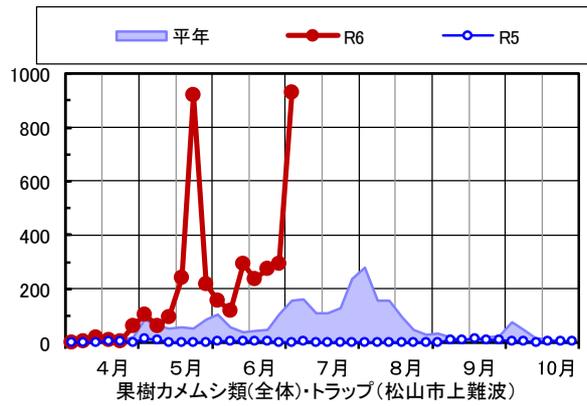
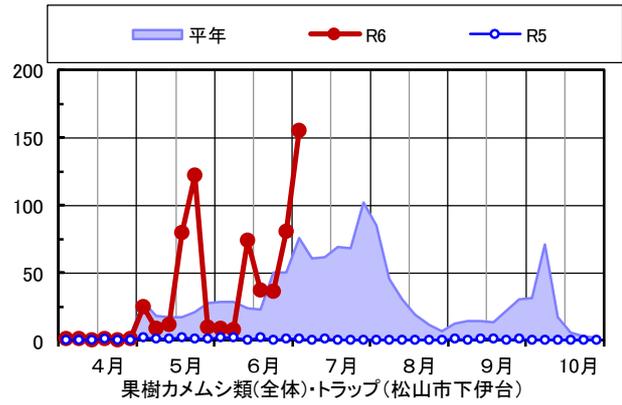
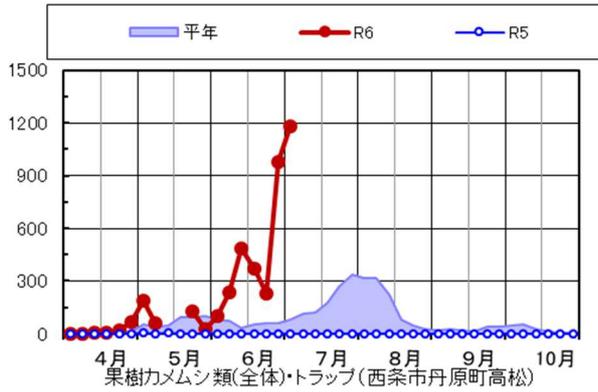
※R6年7月第1半旬は、4日間のデータ

宇和島市吉田町は6月第6半旬のみのデータ

4 防除上の注意等

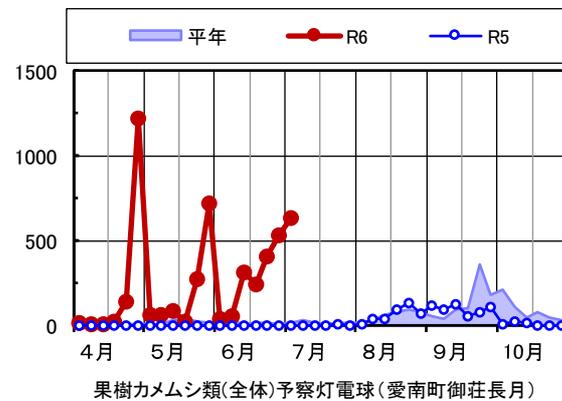
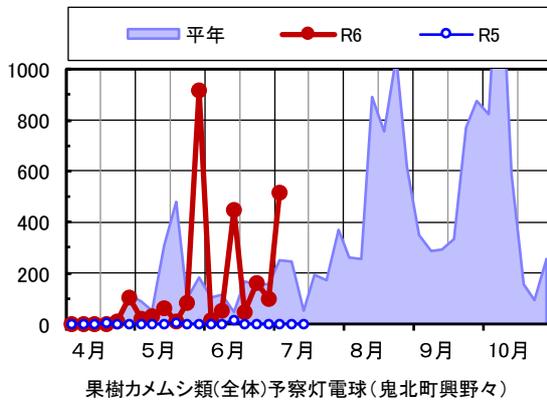
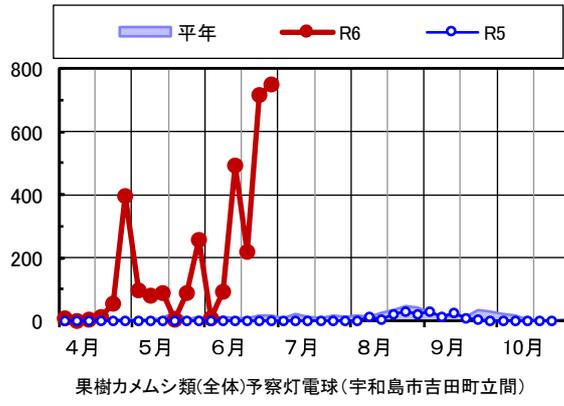
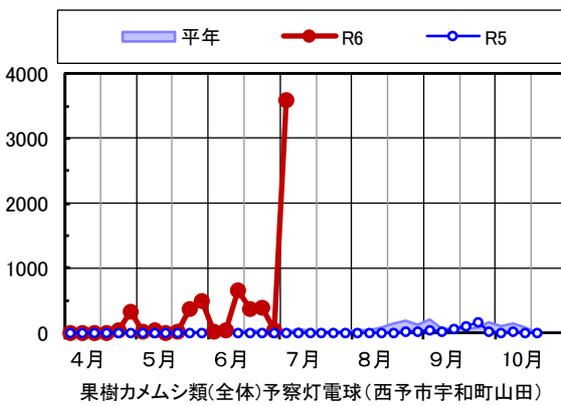
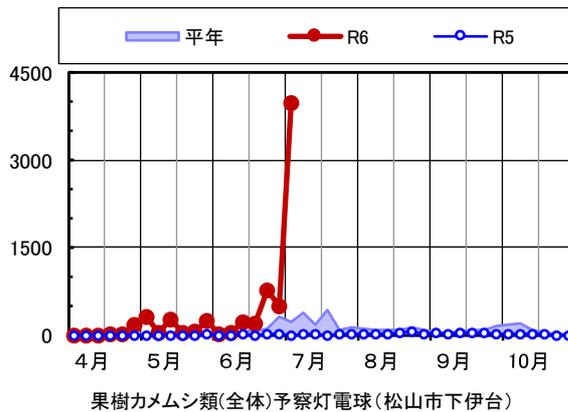
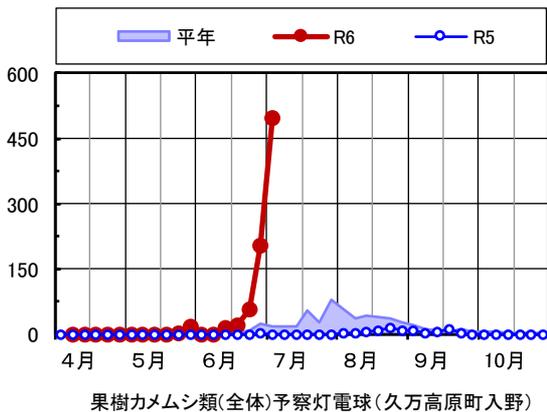
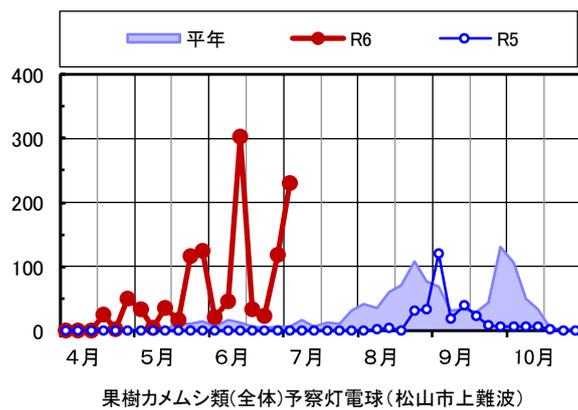
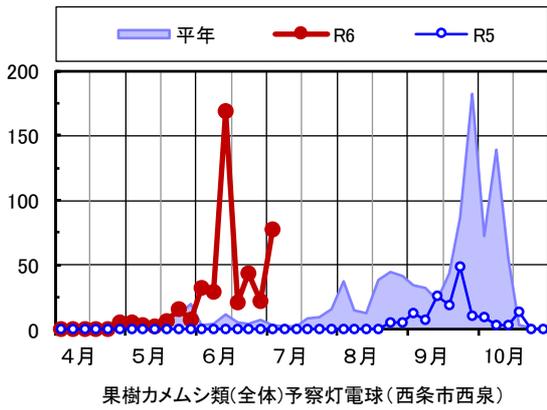
- （1）果樹園への飛来量は園により異なるため、園内での発生に注意し、発生が認められた場合には、各地域の防除暦に従い速やかに薬剤防除を行う。
- （2）主に山林から果樹園に飛来するため、山林に近い園地での被害が多い傾向にある。
- （3）苗木等新梢を利用する場合は、ミカンハモグリガ等の防除の際、果樹カメムシ類にも適用のある剤を選択する。
- （4）飛来が長期間続く場合は、継続的な防除が必要であるが、連続して防除を行うと、ハダニ類やカイガラムシ類の異常増殖（リサージェンス）を引き起こす恐れがあるので注意する。
- （5）薬剤は登録内容に応じて使用する（表2）が、周辺作物や生物（魚・蚕・ミツバチなど）に影響を及ぼさないよう注意して選択する。

○集合フェロモントラップの誘殺数



- ・宇和島市吉田町は7月第1半旬は未調査
- ・宇和島市吉田町以外の調査地点の7月第1半旬は4日間のデータ。

○予察灯の誘殺数



- ・宇和島市吉田町は7月第1半旬は未調査
- ・宇和島市吉田町以外の調査地点の7月第1半旬は4日間のデータ。

表2 主な防除薬剤一覧(令和6年度愛媛県農作物病虫害等防除指針より抜粋)

作物	IRAC コード	薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	毒性	
						人毒	水産
なし	1B	スミチオン水和剤40	1,000	(無袋) 収穫21日前まで (有袋) 収穫14日前まで	6回以内 6回以内	普通	△
	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アドマイヤー水和剤	1,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	アグロスリン水和剤	1,500	収穫前日まで	3回以内	劇物	×
		スカウトフロアブル	1,500	収穫前日まで	5回以内	劇物	△※
		テルスター水和剤	2,000	収穫前日まで	2回以内	普通	△※
		テルスターフロアブル	5,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
		ロディー水和剤	1,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
28	テッパン液剤	2,000	収穫前日まで	2回以内	普通	○	
かき	1B	スミチオン水和剤40	1,000	収穫30日前まで	3回以内	普通	△
	4A	アドマイヤー水和剤	1,000	収穫7日前まで	3回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫3日前まで	3回以内	普通	△
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫7日前まで	3回以内	普通	△
	28+4A	キックオフ顆粒水和剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	アグロスリン水和剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	×
		テルスター水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△※
		テルスターフロアブル	5,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	×
ロディー水和剤		1,500	収穫7日前まで	3回以内	劇物	×	
3A+1B	パーマチオン水和剤	2,000	収穫30日前まで	3回以内	劇物	×	
2B	キラップフロアブル	2,000	収穫7日前まで	2回以内	普通	○	
キウイフ ルーツ	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	収穫7日前まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	アディオン乳剤	2,000	収穫7日前まで	5回以内	普通	×
		アグロスリン乳剤	2,000	収穫7日前まで	3回以内	劇物	×
		テルスターフロアブル	3,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
かんきつ	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	普通	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		モスピランSL液剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
	3A	ロディー乳剤	2,000	収穫7日前まで	4回以内	劇物	×
	テルスターフロアブル	5,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	×	

注1) 水産: 水産動植物への影響(表記については令和6年度愛媛県農作物病虫害等防除指針P.8参照)

注2) アドマイヤー水和剤及びフロアブル剤は、露地栽培については発芽期から開花期までは除く